2012年8月26日（日曜日）の下野新聞に弊社社長の講演会が紹介されました。

下野新聞
3 社会 2012年（平成24年）8月26日（日曜日）

「前例ないこと挑戦を」

秋元さん、奨学生にエール

宇都宮で育英講演会

本県出身の大学生や外国人留学生を支援する飯塚毅育英会主催の育英講演会（下野新聞社など後援）が25日、宇都宮市内のホテルで開かれ、パン製造販売「パン・アキモト」（那須塩原市）の秋元義彦社長（59）が講演した。

奨学生にエールを送った秋元さん＝25日午後、宇都宮市内

東日本大震災の被災地支援の経験などを基に「前例がないことも『できるかもしれない』と思ってチャレンジして」と奨学生にエールを送った。

秋元さんは東日本大震災後、厳しい経営状況になりながらも、仲間の支援を得て東北の被災者にパンの缶詰を届け続けた。それがテレビで放映され、全国から多額の寄付が集まったという。

一定期間が過ぎたパンの缶詰を回収し発展途上国に届ける事業では、大手宅配業者の協力を得るまで、手紙や電話で何度も交渉を重ねたと明かした。そして「一生懸命チャレンジすると、応援団がいっぱい出てくる」と力を込めた。

講演会には、奨学生や保護者ら約200人が参加。奨学生の中国人留学生、申艶紅さん（25）は「勉強もがんばれば、困難なことも乗り越えられると思った」と話していた。

弁天の島田うどん